

令和6年度 第5回 保土ヶ谷区障害者自立支援協議会 当事者活動支援部会 会議録	
日時	令和6年9月11日(水) 17:30~18:30
開催場所	地域活動ホームゆめ ボランティアルーム
出席者	6名
欠席者	4名
開催形態	公開(傍聴人: 名) ・ <u>非公開</u>
議題	<p>目的 前回に引き続き、まずは部会のメンバー同士がお互いのことを知る機会を持つこととした。今回は「ときわ虹の会」の誉田氏からお話を伺った。</p> <p>ときわ虹の会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もともと横浜市立ろう特別支援学校の保護者たちが中心となり設立。今年で13年目になる。 ・設立当時、ろう重複の子たちの卒業後の進路はかなり限定的だったり、福祉関係者にも理解されていないことがわかった。存在や支援方法を知ってもらう必要があった。 ・区内でどこか支援団体はないか、と調べた中の一つに「自立支援協議会(当事者活動支援部会)」があり、参加へ。区社協内の当事者部会にも所属している。 ・現在は正会員と賛助会員を合わせ40家族が所属していて、区外にも会員がいる。当事者家族もいる。会員の子どもは、8割が卒業生となっている。 ・現在は、週末子どもレク「にじどりハウス」の企画運営、手話サロン、区内小学校への福祉教育などを実施。 <p>誉田氏より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間づくりから、親なき後の生活へ親の願いや不安は変わってきている。個人情報にも敏感になっていて、集まり話すよりは個人的に会って、その時に欲しい情報を得ている会員が増えている。 ・会員は横浜市だけではなくたり仕事をしている人が多いため、集まるイベント企画は難しく、顔を知らない会員同士が増えている。 ・親の会は世代交代や維持が難しいと聞いていたが、数年前から直面している。 <p>意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近では当事者家族の話や聞ける機会がとても減ってきている。支援者たちに向けて伝えてもらう機会を設けてもよいかもしれない。 ・今回で一旦、部会メンバー内での座談会は終了となる。新規の当事者団体(わくらくもぐら会さん)からも、部会のお話を聞いてみたいとのリクエストをいただいているところ。 ・改めて当事者活動支援部会の目指すところ(当事者活動の支援、普及啓発)について次回の部会で整理し、下半期の活動内容について検討したい。 <p>次回: 10/6(水) 17:30~ 地域活動ホームゆめ2F ボランティアコーナーにて</p>